

# たいない

議会だより

No.72

令和4年5月1日  
(2022年)

【題字】高橋 斗真 さん  
たかはし とうま

乙在住の川崎さんファミリー

左から 百叶 (も か) さん 小1  
郁飛 (いくと) さん 小4  
叶翔 (かなと) さん 小2



令和4年度予算審査特別委員会

会派代表質問 (4人)

一般質問 (6人)

令和4年 第1回定例会 議決結果

常任委員会審査

2~5ページ

6~9ページ

10~15ページ

16~17ページ

18~19ページ

# 一般会計 161億9,700万円

特別会計 74億7,780万円 企業会計 45億5,861万円



施政方針を述べる井畑市長

令和4年第1回定例会は、2月22日から3月18日までの25日間の日程で開催されました。

初日は、井畑市長が施政方針で令和4年度に進める9つの項目、(1)「子育て・教育」(2)「人口減少対策」(3)「高齢化と地域コミュニティの維持に向けた対応」(4)「環境課題の解決に向けた取組」(5)「文化・芸術の振興」(6)「産業振興」(7)「市民協働」(8)「新型コロナウイルス感染症への対応」(9)「その他3点」について述

## 第1回定例会

べました。議案の提案説明の後、専決処分した補正予算3件を承認し、補正予算1件と公の施設に係る指定管理者の指定について可決しました。その他議案は所管の委員会へ付託し審議しました。

3月9日、4会派の代表が「市政運営」等について、会派代表質問を行いました。

10日と11日には、計6名の議員が市の行政全般について一般質問を行いました。

14日から16日には、予算審査特別委員会を開催し、新年度予算を審査しました。

最終日には、委員長報告を行った後、議案32件、議員提出議案2件を原案のとおり可決しました。

### 令和4年度に実施する主な事業

#### ○子育てと教育

- ・中条小学校改築事業 9,572万円

昨年度から引続き中条小学校の改築工事に関連する設計等の業務委託を行う。

#### ○人口減少対策

- ・ライフデザイン支援事業 486万円

婚活支援や婚姻に伴う住まいや引っ越しなどの経費に対する補助などにより新生活の円滑なスタートアップを支援する。

#### ○市民協働・高齢化と地域コミュニティの維持に向けた取組

- ・合併振興基金運用益活用事業補助金交付事業 903万円

合併振興基金運用益を活用し、市民が自主的に実施する地域活性化の取組に対して補助金を交付する。今年度は地域における見守り活動など補助対象事業の拡大を図っている。

#### ○産業振興

- ・農業創意工夫応援事業補助金交付事業 500万円

創意工夫により新たな取組に挑戦する農業者を支援し、農業の活性化を図る。

- ・胎内スマートIC整備事業 6,004万円

令和5年3月の供用開始に向け側道整備を行う。

#### ○環境課題の解決に向けた取組

- ・洋上風力発電誘致事業 61万円

再生可能エネルギーの推進と地域経済の活性化に資するため洋上風力発電事業の促進区域措置に向けた取組を実施。

#### ○文化・芸術の振興

- ・史跡整備事業 326万円

地域の文化財を最大限に活かす方法や保存と活用のための施策を記した文化財保存活用地域計画を策定する。

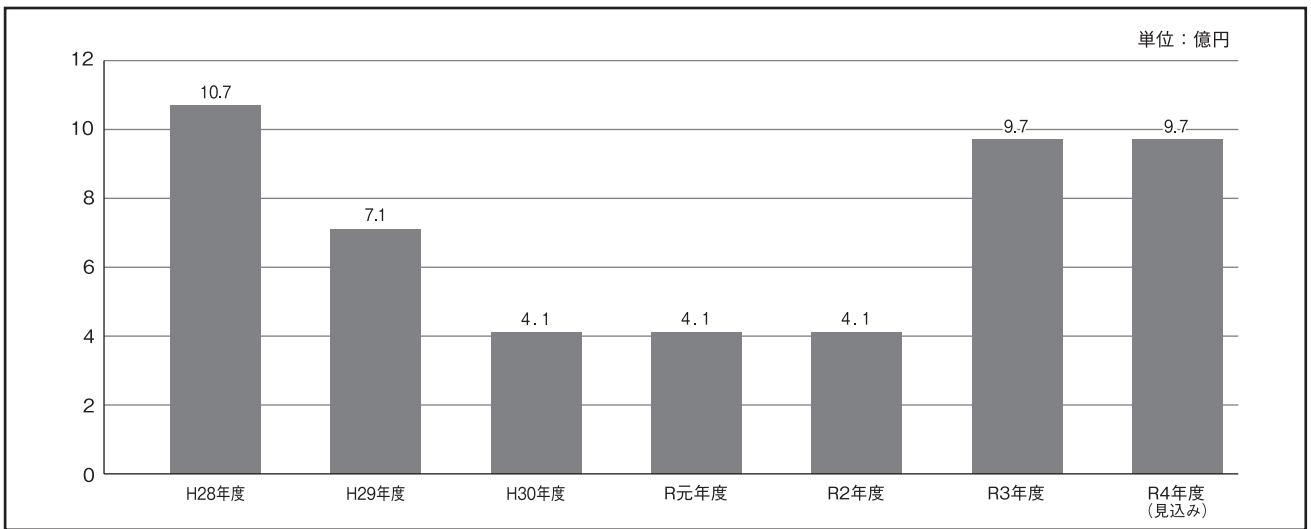
# 令和4年度 当初予算を可決

## ○令和4年度 各会計予算

会計区分		今年度予算額	前年度予算額	前年度比
一般会計		161億9,700万円	163億1,600万円	△ 0.7%
特別会計	国民健康保険事業	29億9,570万円	31億2,860万円	△ 4.2%
	後期高齢者医療	3億4,200万円	3億3,050万円	3.5%
	介護保険事業	36億9,030万円	36億4,150万円	1.3%
	黒川診療所運営事業	5,640万円	5,650万円	△ 0.2%
	地域産業振興事業	2億4,370万円	2億6,010万円	△ 6.3%
	鹿ノ俣発電所運営事業	1億4,970万円	1億4,620万円	2.4%
企業会計	公共下水道事業	19億575万円	18億7,921万円	1.4%
	農業集落排水事業	11億9,091万円	11億3,971万円	4.5%
	水道事業	11億853万円	10億8,539万円	2.1%
	簡易水道事業	3億4,084万円	3億3,766万円	0.9%
	工業用水道事業	1,258万円	1,437万円	△ 12.5%

企業会計は、収益的支出及び資本的支出の合計額を記載。

## 市の貯金にあたる「財政調整基金」の推移



# 令和4年度予算審査特別委員会

令和4年度胎内市一般会計予算をはじめとする12会計の予算について、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、3日間にわたり審議を行いました。主な質疑を紹介します。



## 一般会計（3月14日）

### 総務費

**質問** デマンドタクシーへの負担金が昨年より増額した理由は。

**答弁** 利用料収入等の減額を見込み負担金を増額した。

**質問** ふるさと納税返礼品のうち米の割合は。

**答弁** 米の割合は約95%、地ビールが約1%、その他が約3%となっている。

**質問** 移住体験住宅の過去の利用実績は。

**答弁** 平成30年度が1組2人、令和元年度が7組19人、令和2年度が4組10人、令和3年度が3組7人である。

**質問** 旧住宅解体工事の場所と解体後の跡地の利用計画は。

**答弁** 小長谷の2号棟と8号棟の2棟を解体予定。跡地利用については、今後検討していく。

### 民生費

**質問** どんぐり園の利用状況は。

**答弁** 2月末時点で開所日数が218日、利用人数が延べ112人である。

**質問** 人工透析通院交通費助成金の対象者は何名いるのか。助成の仕方は。

**答弁** 人工透析の患者数は70人。予算は59人分を計上している。令和2年度の助成実績は実人数57人、延べ634回の利用である。助成月額4千円を年4回に分けて支給している。



どんぐり園

**質問** 生活困窮者自立支援事業委託料が増額になっている理由は。

**答弁** コロナ禍の影響もあり相談件数が増えていることから相談支援の体制を強化するため、現在の3人の支援員にもう一人支援員を追加配置するため。

### 衛生費

**質問** 臭気チェックモニターの謝礼が増額になっている理由は。

**答弁** 笹口浜の近くに移転した事業所があり、笹口浜に一人新たなチェックモニターの配置を考えている。

**質問** 個別予防接種委託料が増額になっている理由は。

**答弁** 子宮頸がん検診のワクチン接種を今まで受診勧奨していなかった25歳以下の方500人分の接種を予定しているため。

商工費

質問 樽ヶ橋遊園に導入予定の動物は。

答弁 フェレット、モルモット、ウサギ、ダチョウの導入を計画している。

質問 スキー場改修工事の内容は。

答弁 ロマンスリフトの改修、小倉沢ゲレンデの整備等を予定している。

土木費

質問 住宅建築リフォーム補助金の実績と見込みについて。

答弁 令和3年度の補助実績は105件で94万4千円。令和4年度では70件を見込んでいる。

教育費

質問 陶芸教室の開催回数と参加者数の実績は。

答弁 令和3年度は春、夏、秋と3回開催し、参加者はそれぞれ春の講座が33名、夏の親子陶芸教室が26名、秋の講座が28名

である。

質問 産業文化会館が工事で使えないことから成人式会場設営委託料が計上されているが、どこを予定しているのか。

答弁 会場はぶれすぽ胎内で例年どおり8月15日開催を予定している。



スキー場

特別会計（3月15日）

国民健康保険事業

質問 人間ドック、脳ドック、胸部・腹部CTの受診状況は。

答弁 令和2年度の実績は、人間ドックが855人、脳ドックが38人、CTは182人である。予算としては人間ドック995人、脳ドック50人、CT190人を見込んでいる。

質問 歳入が昨年より減っている理由は。

答弁 被保険者が約340人減少する見込みであることによる。これは、団塊の世代が後期高齢者医療保険に移行することが大きな要因である。

介護保険事業

質問 令和3年7月から導入した紙おむつ給付券の利用者数は。

答弁 2月末現在、紙おむつの給付を受けている方が269人である。そのうち9割の方が給付券を利用している。

質問 成年後見制度利用助成金を受けている人はいるのか。

答弁 今年度は1件、昨年度は0件であった。



企業会計（3月16日）

水道事業

質問 配水管布設工事はどのくらいを予定しているのか。また、今後の計画は。

答弁 1千10メートルを予定している。今後は、予算にもよるが毎年約2千メートルずつ計画していきたい。

緑 風 会

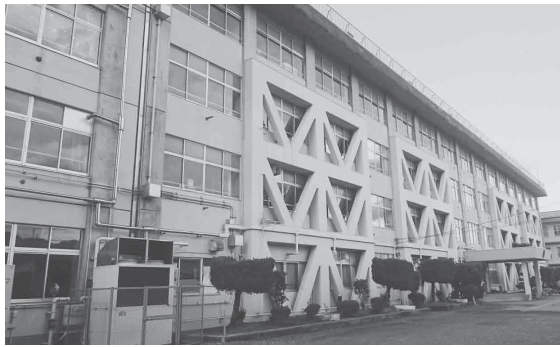


渡辺 宏行 議員

# 令和4年度施政方針について

**議員** 小中学校の再編について検討委員会での進捗状況と今後の進め方は。

**教育長** 現在答申書作成の最終段階に入っている。答申書には、基本的な考え方として学校の規模、通学の在り方、学校と地域の在り方について述べる。ともに、①現状継続②小中一貫型小中学校③統合という、3つの場合におけるメリットやデメリットに対する方策などが盛り込まれる。今後は、3月中旬に答申書作成、その後教育委員会で、答申内容を踏まえ、基本方針をまとめ、市民へ説明していく。



市内中学校

**議員** 地域コミュニティの維持に向けた取り組みとして、合併振興基金運用益活用事業補助金について、新たに補助対象事業

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

の拡大を図るとのことだが、具體的内容は。

**市長** 地域での支え合い活動は、コミュニティの役割として、ますます重要になってくるものと思われる。令和4年度からそのような活動を行う自治会やその他の団体を対象に、活動に要する作業手当や器具の修繕、送迎車のガソリン代等、様々な用途に使えるよう、活動対象地域の世帯数に応じて2万円、または3万円を上限に定額補助を行っていく。

## 行政手続きの押印見直しについて

**議員** 押印見直しの進捗状況と胎内市の裁量で、見直し可能な手続きの件数は。

**市長** 国・県等の見直しによる法令等の改正があった際には、それに応じた変更を行っている。現在、胎内市において押印を必要とする書類は、約900件だが、押印によって市民に面倒をかけている場面、ケースはさほど多くないと捉えている。

## 市道の点検整備について

**議員** 集落内以外の生活道路の損傷についての対応は。また、長橋・星の宮・関沢線は、経年劣化などの要因により、損傷が激しく早急に修繕すべきと思うが考えは。

**市長** 道路の状況を把握しながら、緊急性、公益性、経済性など総合的に見極めながら、優先順位を定め、計画的に取り組んでいる。長橋・星の宮・関沢線は、新年度の計画には入っていないが、現地を確認し部分的な修繕を含め対応していく。



道路の損傷

政 和 会



渡辺 俊 議員

行政改革大綱について

議員 行政改革大綱実施計画の評価は。

市長 29の実施項目のうち、おむね計画どおりに実施されていると評価されたものが19項目、さらなる進展を望む取組が求められるとされたものが10項目となっており、一般的に大綱が目指した方向に向けて、行政改革の取組が進んでいるものと捉えている。

議員 公共施設等総合管理計画の進捗状況は。

市長 旧中条体育館等の施設の解体により管理する施設の規模が5.5%減になり、その後黒川体育館も含め、旧教職員住宅や障

がい福祉サービス事務所、旧東学校給食センターなどの解体、市設住宅の売却などにより、さらに1.9%の縮減をする一方、中条駅東西自由通路や樽ヶ橋遊園



黒川体育館



中条駅東口

の受付ラウンジの増設等で1.2%拡大されており、全体としては6.2%の縮減となっている。縮減されただけでこの計画の目的とするものが叶うわけではないが、しっかりと縮減すべきは縮減をし、住民利用に供するため、拡充等するものがある場合にはそれらについても配慮しながらトータルとして望ましい公共施設の管理運営を行っている。

議員 インフラ施設の更新費用がピークになるのはいつ頃か。

財政課長 令和14年頃に一度ピークを迎える。

議員 財政健全化のため、次の

行政改革大綱を策定する時に集中改革プランも立ててみては。  
市長 令和4年度から始まる中条小学校の大規模改築は新築に近く、今から建設に係る基金を蓄えておくことが求められ、生涯学習施設については青写真を固めていくが、そこにおいても従来型の起債を用いて公だけで造ることだけではなく、民間の方々の事業推進や資金などを併せて活用しながら行政経費を抑えることを考えている。



樽ヶ橋遊園 受付ラウンジ

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

日本共産党



丸山 孝博 議員

胎内消防署の統廃合について

議員 統合、再編計画の最終案が示されたが経緯は。市民が一番心配している消防車、救急車の現場までの到達時間が延びることに対する不安にどう応えるのか。

市長 胎内消防署、黒川出張所ともに築47年以上経過し、更新時期を迎えている。国の整備指針のほか、将来人口や財政規模などを勘案した上で両施設を統合、再編して、令和12年度から運用開始を予定している。統合先は、現在の胎内消防署から上水道課棟のエリアとすることにした。不安視する声については、ドクターヘリの充実と確



胎内消防署黒川出張所

保、普通救命の定期講習、関川分署からの救急出動応援体制の構築の協議のほか、最新設備投

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

入などで不安を払拭するよう努める。各地区での説明会等を通じて理解をお願いする。

議員 統廃合、再編で消防車、救急車の到着時間が違ってくることにについての試算はしているのか。

総務課長 歙江から坂井地区において、試算したところ約3分20秒程度の遅れが発生する。黒川出張所でのタイムロスがなくなることや最新鋭の情報設備の導入等、出動態勢をスムーズにできるようにし、更に時間短縮できるように検討を進めている段階である。

就学援助制度の拡充について

議員 長引く新型コロナウイルスの影響で、教育費の負担に悩む家庭が多くなっている。それだけに就学援助の活用が経済的に役立つ大事な制度になっている。独自の対応など制度の拡充を求めたい。

市長 状況等を踏まえながら必要な対応に努めたい。

議員 就学援助制度は最も有効な支援である。胎内市の場合、生活保護基準の1.3倍だが近隣自治体の状況はどうか。

学校教育課長 20市のうち、1.3倍が17市、1.2倍が1市、1.42倍が1市、1.5倍が1市である。

学校給食について

議員 完全オーガニックな学校給食の日を取り入れられないか。

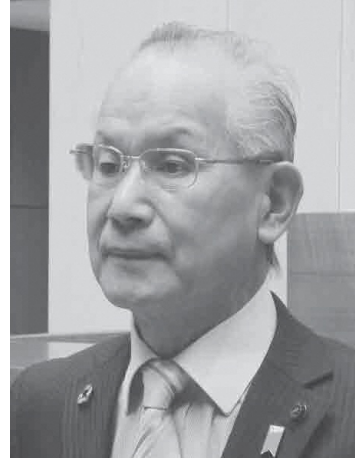
市長 その価値は高いものがあるので、何らかの形で食育などにもつなげていきたいと思う。



学校給食センター



公明党



渡辺 栄六 議員

行政のデジタル化推進について

議員 誰一人取り残さないデジタル化の実現に向けて、高齢者向けスマホ教室等を市で開催できないか。

市長 社会のデジタル化が急速に進んでいることから、スマートフォンやタブレットの普及を進めるべく、高齢者向けのスマホ教室を行うことなども考えていきたい。

議員 マイナンバーカードが健康保険証として使えることとなったが、専用読取機の設置が進まない医療機関に対し、市の補助等は考えられないか。

市長 国において読取機の無償提供や導入費用に対する助成な

どの支援策が設けられていることから、市として追加の助成は考えていない。

議員 デジタル障害者手帳「ミライロード」のアプリで各種割引制度等が利用できることとなったが、本市での運用は。



マイナンバーカード専用読取機

市長 市においては昨年10月から運用を開始し、樽ヶ橋遊園や各展観施設において、施設利用料の割引適用の際、手帳の代わりとして使うことができ、施設の窓口にはチラシやステッカーなどで周知を図っている。

感染症対策と市の観光PRについて

「やらじゃん」入りの

マスクで感染症対策を！

議員 「やらじゃん」のゆるキャラ入りマスクをオリジナルに製造販売し、感染症対策の徹底と市の観光PRにつなげてみてはどうか。

市長 本来目的である感染防止対策と観光PR等を同時に行うことは、いささか無理のあるところではないかと思う。



除排雪を活用した子どもの遊び場確保について

議員 黒川多目的広場に除排雪された雪が運び込まれたが、子どもたちのそり遊び場として確保できないか。

市長 除排雪を行うごとに重機等が入りして、安全性で心配されることからそり遊び場として設置することは難しいと考えている。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



羽田野 孝子 議員

## 新型コロナウイルス 感染状況と対策について

**議員** 変異株「オミクロン株」が全国的に拡大し、市でも連日のように感染が確認されており、不安の声が聞かれるが感染状況は。

**市長** オミクロン株による感染が発生して、市においても令和4年に入り2か月間で約200人の感染が確認されている。クラスターの認定や対応は県が所管していて、市町村ごとの詳細を公表していない。確定的には言えないが、感染者数は低く抑えられ、クラスターは2例程度にとどまっていると捉えている。

**議員** 発熱外来の開設状況と国が実施するPCR検査は。



ひいらぎ調剤薬局

**市長** 発熱外来は、中条中央病院、ちの泌尿器科・内科医院、小野耳鼻科医院及び中条駅前じゅん耳鼻科医院で開設。ひい

らぎ薬局で抗原検査が可能である。

## 農業振興対策 について

**議員** コロナ禍で米価が低迷して、60キロ当たり2千円近く下落している。他市町村では10アール当たり1千円〜5千円程度の支援金を出している事例があるが当市でも支援すべきではないか。

**市長** 人口減少に加え、コロナ禍の影響による米価下落や燃油、資材等の高騰により、米農家の経営も厳しい状況にあるので、主食用米の作付に係る生産費の一部を支援していくよう準備を進めているところである。

**議員** 実施はいつ頃になるのか。  
**市長** 現実的には来年度予算か、今年度の補正で考えていく。

## 中山間地からのデイケアの 利用確保について

**議員** 週3回希望しているが、2回しか利用できない事例があった。町部と同様に希望通り利用できるよう介護事業者を指導してもらいたい。

**市長** 厚生労働省の基準省令により、正当な理由がある場合は要望を断ることができると定められている。事業所に聞き取り、それに該当すると捉えている。代替的な方策があるか否か考えていく。



胎内産コシヒカリ



坂上 隆夫 議員

### 黒川診療所について

議員 ここ数年の利用状況を伺う。

市長 平成30年度750人弱、令和元年度600人弱、令和2年度500人弱である。なお、70歳以上の高齢者の定期的な通院が全体の80%を占め、重度疾病や急性期患者の利用はない。

議員 今後の黒川診療所の運営については、現状を鑑み何か考案があるのか。

市長 利用者が年々減少してきていることに加え、施設、設備が老朽化している状況、医師の確保は大変困難なことなどを総合的に勘案すると、今後常駐の医師を迎えることが現実的に難

しく、大切なことは、診療所そのものを維持継続することではなく、中山間地の地域医療をいかに守って支えていくかという



黒川診療所

視点で考えていくことに尽きる。訪問診療を今より拡充させることや自動車を持たない方や運転が難しい方が病院や医院へ通院することに特化した交通手段を整備することなどによって、解決が図られないかなど、多角的に検討しながら、可能であれば来年度中にも一定の方向性を打ち出したい。中山間地域の住民が不安に感じることをないよう、現行の診療体制をしばし継続した中で、安心できる具体的な姿を示していくことが市としての大切な責務であろうと認識している。

### 小中学校のGIGAスクールについて

議員 コロナ感染で急な学校休業となった時に家庭でのオンライン授業を行う計画はあるのか。

教育長 通信環境が整っていない家庭への無線通信機器の貸出しや家庭からインターネットに接続した場合に、児童生徒が有害なウェブサイトにアクセスすることを防ぐためのフィルタリ

ングの設定などについて、準備を進めていて、令和4年度の1学期中には、家庭でのオンライン学習を行うことができる環境を整えられるよう今計画している。



学校で使用しているタブレット端末

「その他の質問」  
スキー場について

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



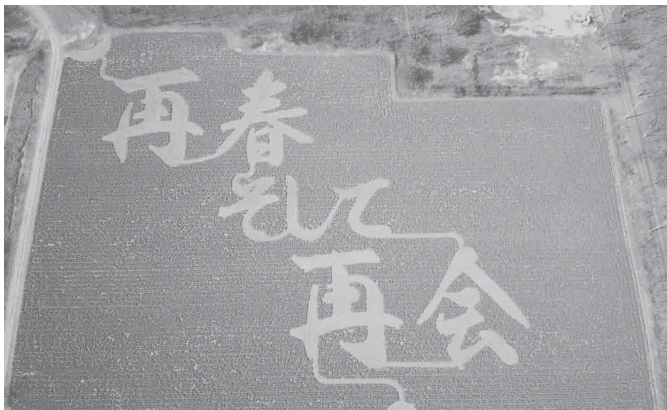
森田 幸衛 議員

### 農業振興について

**議員** 葉たばこ廃作の影響が懸念される築地地区の遊休農地の現況と、農業者の高齢化や担い手不足に対する胎内市の考えは。

**市長** 令和3年度の農業委員会による調査で、約40ヘクタールと把握されており、農地としての復旧が困難とみなされている荒廃農地は約21ヘクタールあり、耕作可能な19ヘクタールの農地については、農地中間管理機構の活用による担い手の確保を進めるほか、農業者の組織化を進めることによる労働力の確保や新規就農者支援事業、担い手確保対策事業などの支援事業

の活用を図っていきたい。



令和4年度 菜花畑絵文字 (長池憩いの森公園内)

### 洋上風力について

**議員** 法定協議会における課題と今後の方針は。

**市長** 国に対して、騒音や振動、健康や景観への影響といった一般的に心配される事柄について、ひとつずつ検証して不安材料が取り除かれるという前提の下で取組を進められるよう求めながら、洋上風力発電の立地によりもたらされる雇用の創出や経済波及効果などにも期待を寄せ、その立地が1日も早く現実のものとなるよう努めていきたい。



洋上風力風車

### 行政サービスとSNSの活用について

**議員** 胎内市が行っている多様な行政サービスをカテゴリー別にスマートフォンアプリで簡単に閲覧できるように取組んでいます。

**市長** スマートフォンを利用した行政サービスの閲覧アプリは、市民への周知の手段として有効であると考えている。また、対話型アプリを利用した場合では、問い合わせの自動対応機能により、知りたい情報を得られるという利点もある。大切なことは、必要な人に必要な情報が届くことであり、他団体の優良事例や先行して進められている事例なども参考に、費用対効果を考慮しながら、どのような取り組みができるのか検討しながら進めていきたい。



坂上 清一 議員

### 農業振興の発展について

議員 今後の農業振興の対策と方向性について伺う。

市長 農地については「人・農地プラン」の推進、米政策については、需要に応じた生産、農業農村政策では、中山間地域の活性化に向けた現状検討会の開催、遊休農地対策では、たばこの廃作について、作物導入支援の必要性を認識している。

議員 稲作農家への地方創生臨時交付金を活用した市独自の支援実績及び将来への支援と施策を伺う。

市長 水田農業を継続してもらうような支援策について、J Aとも話し合い、連携して支援を

講じていく運びで考えている。



棚田

### 新型コロナウイルス感染症対策について

議員 現時点での症状、年代別、感染経路等の状況を伺う。

市長 可能な範囲で情報収集を行っている中では、感染した方の症状は、ほとんどの方が軽症か無症状である。年代別の感染状況は、3月8日現在10歳未満が18%、10代が13.1%、20代が9.9%、30代が18%、40代が13.5%、50代が9.5%、60代が6.3%、70代が4%、80代以上が7.7%となっており比較的若い層に感染者が多い傾向である。

### 胎内スマートインターチェンジについて

議員 令和5年3月の供用開始に向けた進捗状況と今後の事業予定について伺う。

市長 測量設計、用地買収が完了し、残すところ工事のみとなっている。市道の工事進捗率は68.1%、NEXCO東日本の工事進捗率は21.8%となっている。令和5年度から供用開始で

きるように、しっかりと進めていく。

議員 スマートインター料金が無償になるようなお願いはできないのか、その辺の考えは。

市長 多くの方々を感じているところかもしれませんがNEXCOにはそういう話もしてみたいと思う。国に対する要望なども考えていくことがむしろ大切ではないかと思っている。



胎内スマートインターチェンジ工事現場

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



森本 将司 議員

### コロナ支援について

**議員** 昨年、2店の市内割烹が閉業した。市長は以前にコロナ禍において倒産ゼロは難しく、市としてセーフティネットの役割を果たしたいとの答弁をしているが具体的な支援策があるのか伺う。

**市長** 事業継続を希望される方のできる範囲で支援し、廃業やその他の苦境に陥った事業者の方々へは利子補給などが考えられる。またコロナ禍の影響緩和として、消費喚起や減収対策、新事業展開などの支援も今後、考えていく。

### 事業見直しについて

**議員** 平成30年度より財政健全化のため約80の事業で3億円ほどの削減をおこなってきたが年々、対象事業も減ってきている。令和4年度の事業見直しは。  
**市長** 令和4年度については3事業1千600万円の見直しを考えている。

**議員** 県内で将来負担比率が最も高い当市として一刻も早い財政の健全化が求められているが、財政健全化計画については平成30年度で止まっている。新しい計画の策定は。

**財政課長** 本来、令和4年度予算策定前に示すべきであったが、諸々の事情があり、現在公表に向けて最終段階に入っている。

令和4年度に向けた見直し事業一覧

事業名	見直し内容	一般財源削減見込み額
一般経費財政係事業	財務会計システムのサーバー等を新発田市、村上市と共同利用することによりシステム経費の軽減を図ります。	200万円
保育園バス運行事業	バス利用者減少の対応として、送迎ルートの見直し等を行い、運行台数の削減を図ります。	650万円
クアハウスたいない管理事業	施設利用者の約85%が会員の利用であるが、会員1人当たりの公費負担額が極めて高いことから、使用料の見直しを行うことで指定管理料の削減を図ります。	800万円
合計		1650万円

### 当市の過疎指定について

**議員** 4月1日より当市も過疎地域に指定され、今後は過疎債の活用も考えられるが具体的な活用案は。  
**市長** 活用案についてはこれらになるが、これまでの辺地債対象外のエリアやソフト事業で

も活用可能となっていることや、交付税措置において一般的な地方債より有利であることから有効に活用していきたい。

### 暖房費補助について

**議員** 2月まで市民税非課税世帯を対象に5千円の補助をおこなってきたが、昨今の世界情勢により灯油代の高騰から補助の効果が多分でなかったと考えられる。追加の補助をすべきでは。  
**市長** 実情から十分とは言えないが一定の負担軽減はあったと考える。国も施策を検討しているということなので注視していく。来年度もこのような状況が続くようであれば何かしらの助成を検討する。



高騰する燃料価格

# 洋上風力発電について



八幡 元弘 議員

**議員** 現在の進捗状況は。

**市長** 昨年9月に有望な区域に選定され、法定協議会において促進区域指定に向けた協議が開始された。

**議員** 今後のスケジュールは。

**市長** 利害関係者の同意が得られることが前提となるが、本年秋以降に促進区域指定、国による事業者の公募、令和5年秋以降に事業者選定、その後環境影響評価などを経て、早ければ5、6年、遅くとも10年後には運転が開始されることを見込んでいます。そうなるように対応、取り組みをしていかなければならない。



洋上風力発電

# 道路のメンテナンスと安全対策について

**議員** 市道の修理、補修は年間どのくらい行っているのか。

**市長** 直近3年平均で4路線、

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



防雪ネット

施工延長は約1千50メートルである。令和2年10月に策定した舗装修繕計画に基づいて、緊急性、公益性、経済性などを考慮し、優先順位をつけ施工している。

**議員** 防雪ネットの設置状況と今後の設置予定は。毎年少しずつでも設置する必要があるのでは。

**市長** 設置状況は38か所、施工延長は2千77メートルである。昨年と比較して1か所、42メートル増えている。自治会からの設置要望もあることから、今後必要性の高いところを優先的に設置していきたい。

# 松くい虫の防除対策について

**議員** 空中散布の範囲外でも松くい虫の被害と推測できる松を見かける。そのような松にどのような対策を行っているのか。

**市長** 空中散布の範囲外の私有地の被害木については、所有者または管理者に処理をお願いしている。処理費用については市の補助金の活用を案内し、市報でも補助金の活用について周知していきたい。



# 令和4年 第1回定例会議決結果

## 全会一致で可決された議案

<p><b>令和4年度当初予算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険事業特別会計予算</li> <li>・後期高齢者医療特別会計予算</li> <li>・介護保険事業特別会計予算</li> <li>・黒川診療所運営事業特別会計予算</li> <li>・地域産業振興事業特別会計予算</li> <li>・鹿ノ俣発電所運営事業特別会計予算</li> <li>・公共下水道事業会計予算</li> <li>・農業集落排水事業会計予算</li> <li>・水道事業会計予算</li> <li>・簡易水道事業会計予算</li> <li>・工業用水道事業会計予算</li> </ul>	<p><b>令和3年度補正予算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会計補正予算（第15号）</li> <li>・一般会計補正予算（第16号）</li> <li>・一般会計補正予算（第17号）</li> <li>・一般会計補正予算（第18号）</li> <li>・一般会計補正予算（第19号）</li> <li>・国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）</li> <li>・後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）</li> <li>・介護保険事業特別会計補正予算（第3号）</li> <li>・鹿ノ俣発電所運営事業特別会計補正予算（第2号）</li> </ul> <p><b>条例の制定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪被害者等支援条例</li> </ul>
<p><b>令和4年度補正予算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会計補正予算（第1号）</li> </ul>	<p><b>条例の一部改正</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護条例の一部を改正する条例</li> <li>・防災会議条例の一部を改正する条例</li> <li>・職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例</li> <li>・国民健康保険税条例の一部を改正する条例</li> <li>・社会体育施設条例の一部を改正する条例</li> <li>・国民健康保険条例の一部を改正する条例</li> <li>・道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例</li> <li>・消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財産の無償譲渡について【荒井浜・土地】</li> <li>・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定【黒川東部辺地】</li> <li>・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定【築地西部辺地】</li> <li>・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定【築地南部辺地】</li> <li>・定住自立圏形成協定の変更</li> <li>・公の施設に係る指定管理者の指定 【クアハウスたいない：株式会社中条スイミングスクール】</li> </ul>	
<p><b>議員提出議案</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議【提出者：渡辺栄六議員】 内容：会派代表者会議で決定し提出するもの。決議内容は別枠にて記載。</li> <li>・最低賃金の改善と地域経済の回復を求める意見書【提出者：桐生清太郎議員】 内容：最低賃金の改善と地域経済の回復を求める意見書を政府へ提出するもの。</li> </ul>	

## ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、明らかにウクライナの主権と領土の一体性を侵害するもので、国際秩序の根幹を揺るがす暴挙であり、子どもを含む多くの一般市民が犠牲になっていることから断じて容認することのできないものである。

また、このような力による一方的な現状変更への試みは、武力の行使を禁ずる国際法及び国連憲章の重大な違反であり、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かすものであり看過できない。

よって、胎内市議会はここに、ロシアによる一連のウクライナへの軍事侵攻に対し強く抗議するとともに、武力行使の即時停止と軍の完全撤退を強く求める。

政府においては、国際社会との緊密な連携の下に、あらゆる外交資源を駆使して、速やかな平和の実現に全力を尽くすことを求める。

以上、決議する。

令和4年3月18日

胎内市議会

市議会では、ロシアの武力行使により甚大な被害を受けているウクライナへの人道的支援のため日本赤十字社を通じ、支援金10万円を送りました。



賛否が分かれた議案

議案名	議員名													議決結果	賛成※	反対※		
	渡辺栄六	筧智也	坂上隆夫	羽田野孝子	森本将司	八幡元弘	渡辺秀敏	坂上清一	小野徳重	薄田智	森田幸衛	渡辺俊	桐生清太郎				渡辺宏行	丸山孝博
令和4年度一般会計予算 内容：討論をご覧ください。	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決	13	2

※ ○：賛成、×：反対

※ 地方自治法第116条の規定により、天木義人議長は表決には参加しません。

※ 全会一致で可決された議案については、議決結果表を省略。

令和4年度胎内市一般会計予算

討論

反対討論

羽田野 孝子 議員

きびしい財政運営で予算編成にご苦労が伺われるが、全面的に賛成するわけにはいかない。地域農業の低迷や人口減少に端的に表れているように、国政の転換なしには市政の展望はもてないのではないか。

胎内高原ミネラルハウス、新潟フルーツパーク、ワイン製造、

胎内リゾート活性化等の改善の兆しは見えないままである。介護保険料の引き上げを避ける在宅介護支援を思い切って強めるべきである。住宅リフォーム助成は太陽光発電の設備なども対象であり、ゼロカーボンシティ宣言からしても増額して市民参加の運動を強めるべきである。

賛成討論

渡辺 秀敏 議員

令和4年度予算案は、持続可能なまちづくりを目指した未来に希望の持てる内容になっている。個々の事業をみると次世代を担う子供たちの成長を地域とともに支える「コミュニティ・スクール運営事業」を始めとした未来への投資、「結婚新生活支援事業補助金」など人口減少対策に向けた各種補助金の計上のほか、地元企業の意欲ある取

り組みへの支援や農業の新たな展開を目指す事業、更には地域支え合い体制や見守り活動など高齢化社会に向けた取り組みに係る予算も盛り込まれており、市の課題を的確に捉えた予算配分になっている。また、財政調整基金を取り崩すことなく、将来につながる予算案としておおいに評価できるものである。

◆会派構成

会派名	会長	副会長	幹事長	会計	会員	
政和会	渡辺 俊	小野 徳重	森田 幸衛	森本 将司	天木 義人	坂上 隆夫
緑風会	渡辺 宏行	薄田 智	八幡 元弘	渡辺 秀敏	筧 智也	
		坂上 清一				
志政会	桐生 清太郎					
日本共産党胎内市議団	丸山 孝博				羽田野 孝子	
公明党	渡辺 栄六					

# 常任委員会審査

## 総務文教

### 胎内市社会体育施設条例の一部を改正する条例

この改正については、社会体育施設のうち黒川体育館及び高浜地域スポーツ施設の屋内運動場について、施設の老朽化と施設の利用状況等を勘案してその用途を廃止するものである。黒川体育館については、昭和40年に建設し56年が経過している。建物は一部外壁が崩れ危険なためバリケードを設置するなどして近づかないようにしている。建物については令和4年度に取り壊す予定としている。

また、高浜地域スポーツ施設の屋内運動場については、昭和48年に建設し48年が経過している。この建物についてもいたる所から雨漏りがしておりそれにより床の傷みと鉄骨に腐食がみられ外壁も一部崩れている状況



黒川体育館

にある。利用者もごくわずかであることから用途廃止すべく改正を行うもの。

**質問** 黒川体育館を利用していらっしゃる方は、今後どこを利用してもらうのか。

**答弁** 現在利用している方は、レクホールを利用する予定である。冬期間利用の方は、旧本条小学校体育館を利用予定である。

**質問** 黒川小学校の体育館を使用する事が出来ないのか。

**答弁** 小学校、中学校の体育館は学校開放で使用しており空いている場合は利用できる。

付託された他10件について  
も可決すべきと決定した。

## 厚生環境

### 令和3年度胎内市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

歳出では、一般管理費で国庫支出金を増額し、一般会計繰入金を減額。包括的支援事業費では、予定していた地域包括支援センター業務の一部委託がかなわなかったことから、当該委託料を減額。基金積立金では、前記委託料の減額に伴い介護給付費準備金を増額。基金積立金の総額は4億341万1千188円となる。歳入では、システム改修に係る国庫補助金の増額を除き、他の国庫補助金、県補助金、一般会計繰入金を減額。

**質問** 地域包括支援センター業務の一部委託がかなわなかった理由は。

**答弁** 保健師、社会福祉士等の専門職の確保が難しかったためである。

### 胎内市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

令和4年度から未就学児の均等割額を軽減する措置が導入されるため必要となる条文の改正を行うもの。軽減する割合は5割である。

**質問** 5割軽減による財源の不足額をどのように捻出するのか。

**答弁** 国が2分の1、県と市町村がそれぞれ4分の1を負担する。ただし県と市町村が負担する分については地方交付税措置がされるので実質的には市町村の負担はない。

付託された他3件について  
も可決すべきと決定した。

# まちづくり

令和3年度胎内市鹿ノ俣発電所運営事業特別会計補正予算(第2号)

送水管破損の修復工事等により約3か月半発電を行えなかったため売電収入を2千万円減額。一方発電機設備点検整備業務委託の金額が125万円減で確定したので、基金からの繰入は1千875万円とし歳入歳出予算の総額を1億4千972万9千円とするもの。

**質問** どんな故障だったのか。

**答弁** 砂防ダムから取水を行って、下流の発電所まで、1千200ミリの送水管で送っているが、土の中に埋められている管に石などが当たって少しずつ動いてきて漏水したと思われる、送水管が破裂した状況だった。

**質問** この先FITの売電額が下がるが発電所の運営は継続できるのか。また、技術者も高齢と聞いているが。

**答弁** FITは令和4年度で終

了し売電単価が約30円から8円か9円になるが運営は可能と判断している。技術者の職員1名は再任用で、委託1名は70歳近い。このままお願いできれば一番いい。



胎内市鹿ノ俣発電所

付託された他1件についても可決すべきと決定した。

※FIT: 再生可能エネルギー源によって発電された電気を電気事業者が固定価格で買い取る制度

## 洋上風力発電の研修会を村上市議会と合同で開催しました

3月25日、胎内市議会では、洋上風力発電についての理解を深めるため村上市議会と合同で研修会を開催しました。

当日は、東京大学名誉教授であり京都大学大学院経済学研究科特任教授である荒川忠一様から「洋上風力発電がもたらす地域振興策について」講演をしていただきました。

洋上風力発電事業の先進地の事例などについて学ぶことができ有意義な研修会となりました。

なお、洋上風力発電事業は、令和3年9月に国から促進区域指定の前段となる有望な区域として選定されたことを受け、促進区域の指定に向けて利害関係者との調整や事業者公募に当たっての留意点等の具体について、法定協議会での協議がはじまっています。

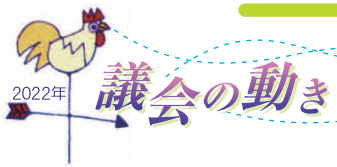


講師と胎内市議会、村上市議会の参加者



講演会の様子

令和4年5月1日 発行責任者 議長 天木義人



令和4年第2回定例会の日程(予定)

- 6月 3日 議会運営委員会
- 9日 本会議(初日)
- 15日 総務文教常任委員会
- 16日 厚生環境常任委員会
- 17日 まちづくり常任委員会
- 23・24日 一般質問
- 28日 本会議(最終日)

ぼくは、1年生からサッカーを習っていきなす。習い始めたときは難しくかったです。少しずつドリブルが出来るようになったり、ゴールを決められるようになったりして、サッカーが楽しくなりました。サッカー選手になれるように頑張りたいです。



中条小学校 六年生  
高橋 斗真さん  
の作品です。

表紙の写真

「胎内市の未来を担う子どもたち」

私の将来の夢は……

- 川崎 郁飛さん(小4) サッカー選手
- 叶 翔さん(小2) 野球選手
- 百叶さん(小1) 保育園の先生

胎内市議会フェイスブック



市議会の活動や話題を発信していきます。ぜひ、ご覧ください。

行政情報発信アプリ

マチイロ



「たいたい議会だより」をスマートフォン等からご覧いただけます。

編集後記

コロナ禍の生活が長引き、いまだに収束の気配が見えないまま三度目の春を迎えました。

また、ロシアのウクライナ軍事侵攻による空爆などで都市が破壊され、多くの子どもや市民の犠牲者が続出し、国内外への避難を強いられる惨事に心が痛まれます。

いかなる国においても、武力で人を殺める戦争は許されるものではありません。対話による平和解決を願わずにはいられません。

(渡辺 栄六 記)

本会議をライブ中継で配信中です!



本会議の様子をYouTubeで生配信しています。詳しくは、専用コード、又は市ホームページ「市議会」をご覧ください。過去の映像もご覧いただけます。

本会議の様子は、本庁舎1階ロビー及び産業文化会館(ロビー)でも視聴できます。



配信はこちら



※本会議を傍聴する場合は本会議当日に本庁舎5階にお越しください。

FAX (0254) 4316111 (0254) 4417875

〒959-1269-3 新潟県胎内市新和町2番10号

印刷/株式会社 須貝印刷